

租税教育用資料をリニューアルしました！

小学生用



中学生用



租税教育だより

令和8年9月1日

第69号

発行人
新潟県租税教育
推進協議会会長
県教育長 太田 勇 二

未来を担う子供たちへ租税教育！



7月25日(土)、「こどもシゴト博2026」が朱鷺メッセで開催され、21の企業や団体がブースを出展しました。

新潟税務署のブースには250人を超える子供たちが訪れ、1億円の重さ体験や税金クイズに参加しました。子供たちは楽しみながら税について学び、税金が私たちの暮らしや社会を支えるために重要な役割を果たしていることに関心を寄せていました。

小・中学校用租税教育用副教材は、新潟県HP内に掲載されています。
租税教育講師用マニュアルや租税教育用アニメなどの租税教育教材は、国税庁ホームページをご活用ください。



新潟県HP



国税庁HP



教材や教師用マニュアルを
紹介しています。

租税教室に関するお問い合わせ・申し込みは、最寄りの税務署（総務課）または新潟・長岡税務署の税務広報広聴官にご連絡ください。

新潟税務署 税務広報広聴官 025-229-2108(直通)
長岡税務署 税務広報広聴官 0258-35-2074(直通)



租税教室の取組

五泉市立大蒲原小学校

五泉市長による租税教室を実施！

5月18日(月)、五泉市立大蒲原小学校において、田邊五泉市長を講師としてお迎えし、租税教室を実施しました。

市長からは、税の歴史や種類、税金の使い道について、地域の身近な話題や具体的な事例を交えながら分かりやすく説明していただきました。

児童たちは熱心に耳を傾け、うなずきながら話を聞くなど、税についての理解を深めている様子が見られました。

今回の租税教室を通じて、児童たちに税の大切さや役割について関心を高めることができ、大変有意義で盛り多い学習の機会となりました。



十日町立中条中学校

「公平な負担」について討議

7月8日(水)、十日町市立中条中学校において、「公平な税の負担」をテーマとして、講義とグループワークを組み合わせた租税教室を実施しました。

講義では、税の役割や必要性について学んだ後、グループワークに取り組み、生徒たちは公平な税の負担のあり方について意見を出し合いながら考えを深めました。

各グループでは活発な意見交換が行われ、それぞれの視点から多様な考え方が示されていました。

また、代表生徒による発表では、「どのような方法が公平な負担につながるのか」について、話し合った内容を整理し、自分たちなりの考えをしっかりと発表していました。



糸魚川市立青海小学校

法人会青年部が租税教室を開催！

5月28日(木)、糸魚川法人会青年部会の本間青年副部長が講師となり、6年生を対象に租税教室を開催しました。

授業では、DVDの視聴やタブレットを使った税金クイズを行い、税の仕組みや役割、重要性などを学習しました。講師による糸魚川大火当時の体験談では、税の使われ方や当時の想いなどが語られ、児童らは真剣な眼差しを向けていました。

授業の中で登場した1億円のレプリカと講師自前のオリンピックのトーチで教室は大いに盛り上がり、充実した租税教室となりました。



新潟市立金津中学校

グループ討議でディスカッション！

7月23日(木)、新潟市立金津中学校において、新津税務署の総務課職員及び新潟税務署税務広報広聴官が講師となり、3年生を対象に租税教室を開催しました。

授業では「生活と税の関わり」について学習した後、「公平な税の集め方」をテーマにグループ討議を行いました。

どうすれば「公平」な負担になるか、各グループともに活発な議論を繰り広げていました。



敬和学園大学

大学寄附講座で租税講義

敬和学園大学が実施した寄附講座において、「くらしの税情報」と題し講義を行いました。

講義は4月20日(月)と27日(月)の2回開催され、新潟税務署石塚副署長と同税務広報広聴官がそれぞれ講師を務め、税の仕組みや役割、社会環境の変化に伴うICTを利用した納税環境の整備等について説明しました。

学生たちは講師の説明に真剣に耳を傾け、税の重要性への理解を一層高めている様子が見られました。

